



ひつこ
比作のお大師さま

所在地 大竹市比作
像 高 二十一cm
彫刻の形式 丸彫り坐像
石の種類 花崗岩

川手をまわる一つに数えられる佐伯八十八ヶ所二十四番霊場で、毎年旧暦二月二十一日地区総出でお祭りをし、他地区からのお参りの方々に接待をされる。
堂内につきのような奏納額があり、明治三十年お札を受けたものと思われる。



「奉納弘法大師、大日本全国住先祖代々の為に安樂この所八十八ヶ所 発起人」

広島県佐伯郡小方村
明治三十年□□月

原 甚 六
越山小十郎

全 心 静

印

このお堂は、昭和二十六年に再建、以後風雪に耐え四十年を経過したが雨漏りや床の腐朽が激しくなり地区の人々により、平成三年七月に建て替えられた。

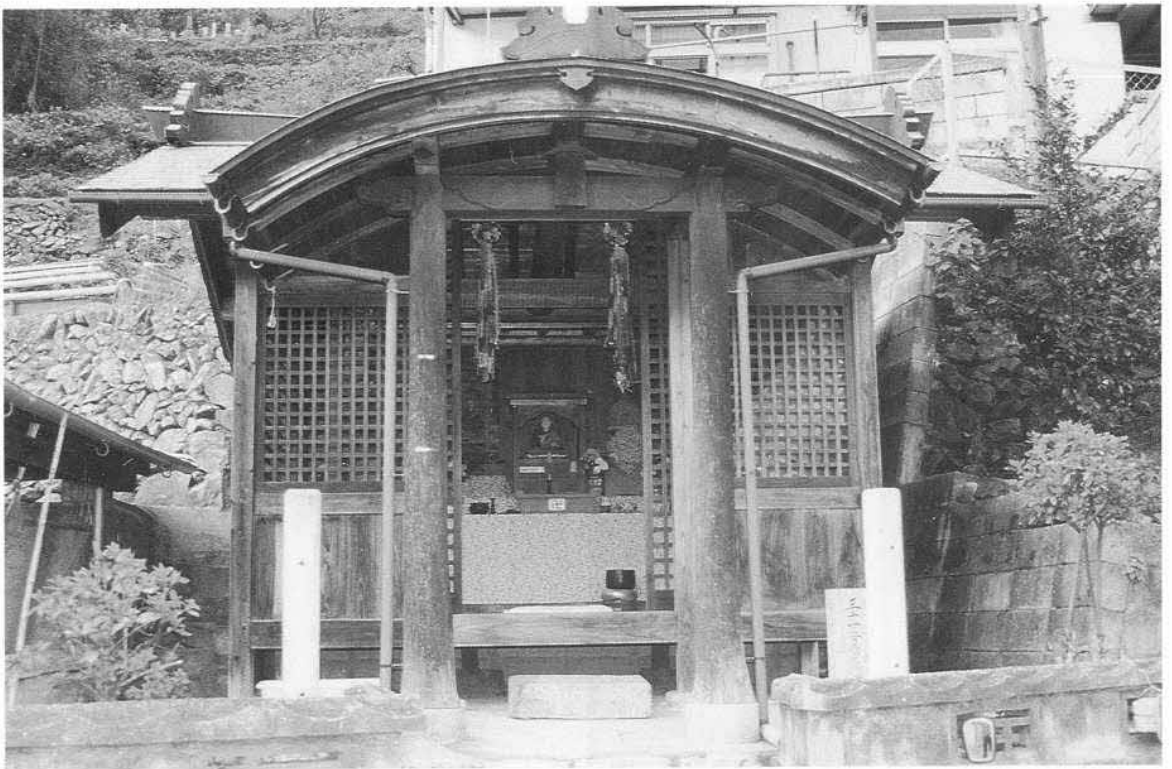
おにわら
穂仁原のお大師さま

所在地 大竹市穂仁原
像 高 二十一、五cm
石の種類 自然石 粘板岩

佐伯八十八ヶ所霊場の川手順路の一つで、第三十三番霊場。通称お大師さんといわれている。

ご本尊は、粘板岩の自然石である。春の川手地区の順礼には、多くの人が訪れる。地元ではお菓子袋などを用意して、お参りの人たちと、今年もまた元気なふれあいの出来たことを喜びあい、信仰のお陰だと感謝する。





防鹿・大師堂の地藏菩薩

所在地 大竹市防鹿
像 高 地藏菩薩立像
四十二cm

彫刻の形式 舟型浮彫り
石の種類 花崗岩

木野方面から、防鹿旧道に入るとすぐ右手に大師堂がある。佐伯八十八ヶ所第三十一番霊場で、毎年旧暦の三月二十一日弘法大師入寂の日に地区の人々により甘茶やお菓子などの接待をされる。

このお堂は、昭和五十一年三月に改築され、堂の中央に弘法大師坐像を祀り、右に舟型浮彫り地藏菩薩が配置されている。

舟型の右肩に「嘉永二年（一八四九）三月、防鹿村寄進」と刻まれている。

防鹿地区でも小方卸場川の無縁塔同様に、古い時代の塔（臺）が発見されている。

地区の人々は、これらを堂内に安置し手厚く祀っている。

枕崎台風被災者供養地蔵

所在地 大竹市木野二丁目
像 高 五十cm
彫刻の形式 舟型浮彫り
石の種類 花崗岩

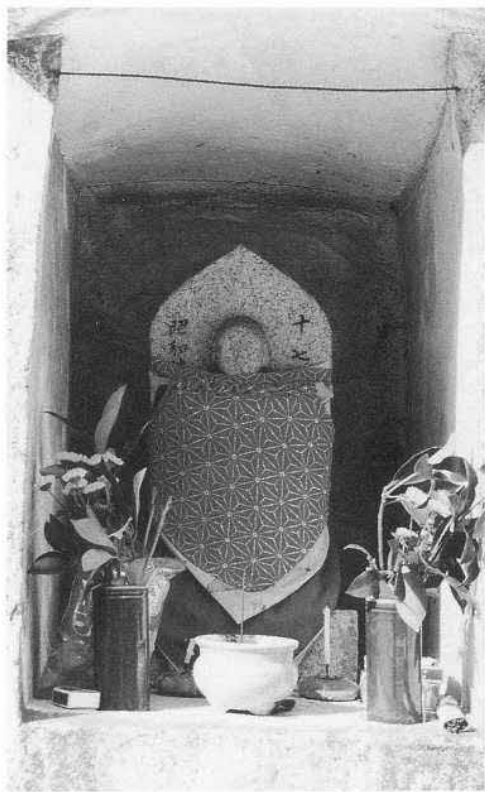
戦後、まだ復興への足掛かりが出来ていないころ、枕崎台風とルース台風が市域を直撃した。

昭和二十年九月十六日の枕崎台風で、上木野と早瀬ヶ迫の境付近の山が、夜半大音響と共に崩れ、十戸の家を瞬時にのみこみ、半壊を含め十四戸が被災した。

これにより一家八名が亡くなるという家もあり、死者は十七名に及んだ。

後に、この地区の人々の手により供養のため地藏菩薩を建立、お花の絶えることはない。

お大師講の日（四月二十一日以後の最初の日曜日）には、テント掛けで地区の人々が集まり、道行く人々にお接待をしておられる。



早瀬ヶ迫の夜泣き地蔵

所在地 大竹市木野二丁目
像 高 三十七cm
彫刻の形式 舟型浮彫り立像
石の種類 花崗岩

木野両国橋から上流に約二百m小瀬川沿いに歩くと、一軀の地蔵さんに出会うことが出来る。この内、セメントブロックの祠に昔から祀られているのが、「夜泣き地蔵」である。

子供の夜泣きが治るといわれる地蔵さんは、市域では二ヶ所（48頁参照）あるが、その一つである。

地元の人とはもとより、他地区からもお参りが多いといわれる。

あるお年寄りは、毎口、早瀬ヶ迫大師堂・枕崎台風被災者供養地蔵そしてこの夜泣き地蔵にお花を手向けて回っていると、元気に話された。

